

日本消化器がん検診学会近畿支部

第 30 回保健衛生研修会実施報告書

今回は、日本におけるがんの現状、諸外国との比較、がん検診の現状と課題、その改善策など、日本のがん死亡を減らすために必要な幅広い知識を学ぶ機会となりました。新型コロナウイルス感染症のため、初めてのWEB開催となりましたが、たくさんの方に参加していただきました。

令和3年3月20日(土)	WEB開催
9:00~10:00	講演 「がん検診の目的と精度管理～日本のがん死亡を減らすために～」
	講師 公益財団法人 福井県健康管理協会 / 県民健康センター 松田 一夫 氏
	司会 奈良県立医科大学 放射線核医学科 伊藤 高広 氏

【参加状況】

保健師・看護師を中心とした、65名の方にご参加いただきました。

【参加者からの感想】

(講演内容について)

- 最近のがん罹患と死亡率の動向を知ることができた。諸外国のがん死亡年次推移は減少傾向であるのに対し、日本は増加傾向であることが印象的で対策が必要と感じた。
- がん検診の現状や問題点などが簡潔に網羅されていた。がん死亡を減らすため、がん検診受診を啓発できるよう業務に活かしていきたい。
- 受診率向上のために効果的かつ具体的な方法を学ぶことができた。
- あらためてがん検診と、精度管理の必要性を確認できた。
- 講演時間の1時間があっという間に感じるほど、興味深く有意義な内容だった。もっと聴きたいと思った。

(WEB開催について)

- 参加者の交流ができず、質疑の難しさはあるが、移動がなく気軽に落ち着いて質の高い講演に参加できて良かった。
- スライドが見やすく、音声も調整できるため、理解しやすかった。

【保健衛生研修委員からひとこと】

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、初めてのWEB開催となり、戸惑うことも多かったのですが、たくさんの方にご視聴いただき、知識を得ていただける有意義な研修会となりました。

お忙しい中、多数ご参加いただきありがとうございました★